

名古屋市民オンブズマン：東区から来た内田と申します。先ほど会場から、「日本の技術は素晴らしい」という話が出たので思い出したことがあります。

私、奈良に行ったとき、平城京の大極殿を拝見させていただきました。立派な木造の建物で、あ、すごいなと思ったら、あれは竹中工務店さんが作られたというふうに聞きました。さすが竹中工務店の技術は素晴らしい。木造技術はすばらしいなと思いました。

で、よくよく調べると、木造を支える基礎構造というものがある。それは竹中工務店さんは「超高耐久コンクリート」というもので支えている。また、免震装置というものも付けている。「超高耐久コンクリート」というのは500年間もつというふうに竹中工務店さんは説明されています。

<https://www.takenaka.co.jp/solution/purpose/traditional/service20/index.html>

ああすばらしい竹中工務店さんの技術で、500年はこの立派な大極殿が見れるなというふうに思いました。

そこで竹中工務店さんに2点お尋ね致します。

1点目

この500年持つコンクリートというのは、この木造復元の天守閣の基礎構造に使われるご予定でしょうか。現在話題になっているはね出し工法というのは、この500年間持つコンクリートで使われるのか、というのが1点目

2点目

本計画とは別に、仮に現在の天守閣を竹中工務店の超高耐久コンクリートを用いて長寿命化するという計画をもし立てたとすると、竹中工務店さんの現在の技術なら今後500年間もつ、ということになるのでしょうか。

この質問をさせていただきたいなと思います。

司会：はい、どうもありがとうございました。これはよろしいでしょうか。2つありまして、木造天守の基礎に500年持つコンクリートを使うのかどうかということと、現在の天守に長寿命化すべくそのコンクリートを使えるかどうかという2点だと思いますが

竹中工務店：まず、手前どもが提案させていただいている基礎構造の中では、500年コンクリート、こういったものを採用して、やはりこの復元される木造天守のいわゆる耐久性の確保ということで整理をさせていただいております。

2番目の現状のRC天守の耐震補強に500年コンクリートというお話ですが、それにつきましては、耐震の専門ではないものですから、どういう使い勝手ができるかというのはなかなか明確には答えられないのですが、一般的には耐震補強というですね、耐震要素をいろんなところに装填しながらやっていくのですが、耐震要素の部分だけ500年としてもですね、じゃあ残っている部分のコンクリートの性能はどうなんだというところはですね、全く評価に値しないと思っております、まあ全体的に見るとそれは明確にですね、定量的にこれは長寿命化につながるということにはつながらないというふうに考えます。

名古屋市民オンブズマン：うん？

司会：ありがとうございました。